

図書館の本は0から9の数字を使って分類されているよ。詳しくは「シカクニト！」第1回（ごちゃっと4号）を見てね。

今回は **++**

**7** (芸術後半)

2012年9月1日発行

発行：名古屋市鶴舞中央図書館

Tel 052-741-9811

Fax 052-733-6337

<http://www.library.city.nagoya.jp/>

# ごちゃっと

芸術のなかま：芸術、美術（700）、彫刻（710）、絵画、書道（720）、版画（730）、写真、印刷（740）、今回はここから→ **工芸（750）、音楽、舞踏（760）、演劇、映画（770）、スポーツ、体育（780）、諸芸、娯楽（790）**

**75** 陶芸、織物などの伝統工芸から身近な木工、折り紙まで。

**76** クラシック、オペラ、おらべうた、ロック、J-POPなど、音楽について活字から知らなラニコ。楽器の入門書や楽譜などもある。

**77** 能や歌舞伎、演劇、映画、テレビなど。俳優やテレビタレントの本もニコニコ。

## ひとりでできるスポーツマッサージ

曾我武史／監修 実業之日本社



上達に大切なのがむしゃらに練習することだけではない。疲労を回復しケガを防ぐためのストレッチやマッサージのコツを知る。すべての運動部員にオススメ。

## 高校生のための上演作品ガイド

岡野宏文／著 白水社



文化祭で演劇やるってことは決まったけど、一体何を上演したらいいのかわからないなんて時に。初めてでも取り組みやすい作品のリストとあらすじ、脚本の入手方法などを掲載。

**78** 各種スポーツ。部活の練習で体が疲れたら、戦術を学んでイメトレだ。登山やサイクリング、キャンプなどのアウトドアモノです。

**79** 諸芸・娯楽という言葉が分かりにくいけど茶道、華道、囲碁、将棋、トランプなどさまざまなものが、ダンスもニコニコに含まれる。

## ――編集後記――

〇〇皆さん夏休みはどう過ごしましたか？私は1回だけ海に行きました！泳がなかったけどね。（忍）〇〇今回から編集に参加いたします。よろしくお願いたします。原稿書きが終わったら、旅に出るんだ…。(sh) 〇〇すきあらば眠っている夏です。シエスタがあるといいのになと思うけど、夜は夜で寝たいんだよねー。（弓）〇〇以前、12号にひっそり登場（笑）今号から新しく編集に加わります。よろしくお願いたします！（千雪）〇〇アイドルをプロデュース中。コミュニケーションがなかなかうまくとれない。……ゲームの話です。（生）〇〇バスの中で「夏はまだ俺が終わらせない！」と話している中学生を見た。なぜか昔を思い出し切なくなりました。（mt）〇〇

♪この印刷物は古紙パルプをふくむ再生紙を使用しています。♪



## 特集

本が大好きなあなたに  
名古屋を舞台にした小説  
聖地巡礼！

☆表紙イラストは あすか さんの作品です☆

# 本が大好きなあなたに



読書の秋！奥が深くバラエティー豊かな本の世界で  
思いっきり遊んでください。

名著 つまみ食い  
名作のエッセンスを味わう



ノンフィクション  
事実には説得力がある



## 『ポケットに名言を』

寺山修司／著 角川書店(角川文庫)

古今東西の本の中から選ばれた **名言** たちの  
あなたの心につきささる my 名言が見つかるか  
も？たとえば、「人生は、書物のそとで聞く時は  
音色が違っている」(ロマン・ロラン)なんて。



## 『あの声優が読むあの名作』

齋藤孝／監修 マガジンハウス

日本の名作小説 18 編の印象的な場面が紹介  
されている。有名声優 4 人(石田彰・杉田  
智和・田中理恵・平野綾)が各場面を **朗読**  
した、付録CDあり。



## 『読書介助犬オリビア』 今西乃子／作 講談社(講談社青い鳥文庫)

本の読み聞かせをきいてくれる犬、**読書介助犬**。  
えっ、犬に本の内容がわかるの？読んであげる意  
味があるの？……それは読んでのお楽しみっ！



## 『10代の本棚』 あさのあつこ／編著 岩波書店(岩波ジュニア新書)

作家や有名人の **読書体験** って、なんだかすご  
く気になるよね。あさのあつこ、はやみねかおるを  
はじめ、13人が語ってくれました。

## 『ラノベ部』 平坂読／著

メディアファクトリー (MF 文庫 J)

軽音楽部ならぬ「**軽読書部**」のゆるくてにぎやか  
な日常。 **ライトノベル** のお約束をネタにし  
ていて、ラノベ好きなら思わずニヤリ。



## 『青年のための読書クラブ』

桜庭一樹／著 新潮社(新潮文庫)

お嬢様学校「**聖マリア学園**」でひっそりと活動  
する、はぐれ者たちの「**読書クラブ**」のすべての  
文学少女にささげたい1冊。



## 『インク ヴァンパイア』シリーズ

サンヴォワザン／文 ソニー・マガジズ  
ぼく見ちゃったんだ！ヘンな男が本屋さんで、  
店の本にストローをさして、**活字** をちゅるちゅる  
吸いはじめたんだ…！ \*絶版です



## 『はてしない物語』

エンデ／作 岩波書店

映画にもなった名作。『はてしない物語』という  
本を手にとったバスチアン少年が、**物語**の世界  
に引き込まれてゆく。読みごたえ、あります。



紹介するまでもなく大人気なのであえてとりあげなかつた  
けど、本をあつかった小説はまだたくさんある。  
たとえば、『**図書館戦争**』(有川浩)、『**文学少女**』  
(野村美月)、『**ピプラリア古書堂の事件手帖**』(三上  
延)などのシリーズ、どれも評判どおりのおもしろさ！

学校で読もう  
読書と部活はよく似合っ



ふしぎな物語  
本の中には何がある？



## 名古屋を舞台にした小説 聖地巡礼！

小説の中には、名古屋を舞台にしたものや  
名古屋が登場するものがいっぱいある。  
それらを、実際に巡って見たよ！

『十四歳の遠距離恋愛』  
嶽本野ばら／著 集英社  
主人公ふたりがデートの  
待ち合わせに使った  
「ナナちゃん人形」



『十四歳の遠距離恋愛』で  
主人公ふたりがデートで  
食べた「スガキヤ」の  
ラーメン。(店はいっぱいあります)



### 「秘め事」

(『ラブコメ今昔』収録)  
有川浩／著 角川書店  
主人公ふたりが  
デートした  
名古屋港と  
南極観測船  
ふじ。



『さよならドビュッシー』  
中山七里／著 宝島社  
ピアノコンサートが行われた  
「愛知県芸術劇場」。



『数奇にして模型』  
森博嗣／著  
講談社  
殺人事件がおきた  
模型交換会の舞台  
のモデルとされる  
「名古屋市公会堂」。



『数奇にして模型』  
主人公・犀川創平の  
勤務先のモデルと  
される「名古屋大学」。



『甘栗と戦車と  
シロノワール』  
太田忠司／著  
角川書店  
題名にもなっている  
「コメダ珈琲店」の  
名物シロノワール。  
そしてブレンドコーヒー。  
(店はいっぱいあります)



このほかにも、名古屋を舞台にした小説はたくさんあるよ！

くわしくは名古屋市図書館 HP に掲載されている「小説で読む名古屋」を見てね！



# 新刊紹介

秋といえば「食欲」「芸術」「スポーツ」etc…いろいろあって迷っちゃう!?  
そんなときには読書の秋をぜひどうぞ♪



## 『学生時代にやらなくてもいい20のこと』

朝井リョウ／著 文芸春秋

『桐島、部活やめるってよ』(集英社)でデビューした著者が、大学生時代に体験した事柄をつづったエッセイ。バスローブ姿で100キロハイクに参加したり、カラーモデルになった先で美容師のお兄さんに振り回されたり、とにかく笑えて面白い!(忍)

## 『サッカーは語る。』

ワールドサッカーキング編集部／編 フロムワン  
サッカー界のすごい人たちの発言を集めた本。当たり前前ことを言っても、重みがあるしカッコイイ。「ピアノの側にいるだけでピアニストになれるわけではない。ピアニストになりたいければ、ピアノを弾くしかない」(モウリーニョ監督)……グサツ。(生)



## 『浜村渚の計算ノート 3と1/2さつめ』

ふえるま島の最終定理』青柳碧人／著 講談社

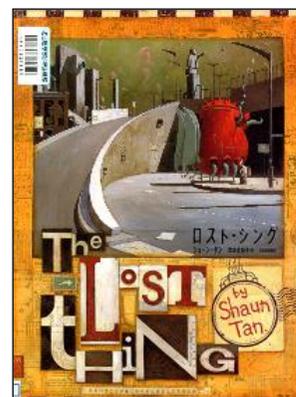
瀬戸内に浮かぶ孤島に建つ、数学好きな人間が集まる奇妙なホテルで起こった密室殺人事件。中学2年生の天才数学少女・浜村渚らは事件に挑む。しかし、さらなる謎が立ちふさがる。それは前オーナーの遺産がかかった、不思議な「なぜなぜ」だった。(sh)

## 『あたたかい水の出るところ』

木地雅映子／著 光文社

銭湯好きの女子高生、ゆず。あたたかい水につかっている時は、家庭内のことも将来の自分のことも考えずにすむ。お風呂以外のことはどうでもいい毎日。そんなある日、マイパワースポット松の湯に不釣り合いなバイクに乗ってくる男と出会った。

目次が示しているように、ちょっぴり不思議な現代版シンデレラストーリー…かな?(弓)



## 『ロスト・シング』

ショーン・タン／著 河出書房新社

何年か前の夏のある日、主人公は不思議な迷子と出会った。いろいろな人に尋ねるが、迷子の手がかりはない。迷子の正体は何物なのか、主人公は迷子を無事に返すことができるのか。各ページの絵や裏表紙に細かいこだわりがあり、何度も読みたくなる大人向けの絵本。(千雪)

## 『心のナイフ 上・下』

パトリック・ネス／著 東京創元社

考えていることがすべて“ノイズ”として周りにもれ聞こえるようになってしまった世界のこと。少年トッドは、ある日突然、訳もわからず町中の武装した男たちから追われる身になってしまう。姿が見えなくても、ノイズのせいで隠れることができないという設定がとても恐ろしい(でも、一緒に逃げる愛犬のマンチーはかわいい)。(mt)

